

(人を対象とする医学系研究に関する倫理指針に則る情報公開)

このたび以下の研究を実施いたします。本研究への協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

本研究の研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧をご希望の場合や個人情報の開示や個人情報の利用目的についての通知をご希望の場合も問い合わせ窓口にご照会ください。なお、他の研究参加者の個人情報や研究者の知的財産の保護などの理由により、ご対応・ご回答ができない場合がありますので、予めご了承ください。

【研究計画名】 新規アルツハイマー病治療剤開発のためのマウスモデル作製および薬効評価

【研究責任者】 国立精神・神経医療研究センター病院 臨床検査部 佐野輝典医師

【本研究の目的及び意義】

アルツハイマー病 (AD) などの神経疾患患者の脳にはしばしば凝集したタンパク質が溜まっています。近年、これらのタンパク質が細胞から細胞へと伝播することにより疾患の病変が広がるという仮説が提唱されています。もしそれが正しいとすると、伝播の阻害が新たな治療薬のメカニズムとして期待されることとなります。本研究では、より人の臨床像に近い AD 病態を再現する疾患モデルとして、AD 脳組織から調製したタンパク質画分をマウス脳に注入して凝集タンパク質の沈着を引き起こすモデルマウスを作製し、このモデルマウスを利用して AD 治療薬の候補化合物の薬効評価を行います。この研究計画では、まずモデルマウス作成に適した条件について検討を行います。

この研究は、エーザイ株式会社との契約に基づいて行われる共同研究で、下記の試料およびそれに付随する情報がエーザイ株式会社に提供されます。研究の費用はエーザイ株式会社が負担します。本研究の利益相反につきましては、NCNP利益相反マネジメント委員会に開示され、適切に管理されています。

【本研究の実施方法及び参加いただく期間】

対象となる方

作成年月日： 2020年9月17日 第4版

2009年1月1日~2020年8月31日の期間に、国立精神・神経医療研究センター病院で病理解剖され、剖検検体の残余の保管及び研究使用に関して同意された方のうち、病理診断によりアルツハイマー病と診断された方、及びそのコントロール（比較対象）となり得る方

利用する試料・情報等

試料：剖検脳組織

情報：付随する確定診断情報、臨床情報

研究期間

2020年6月10日より2023年3月31日まで

**【共同研究機関】**

エーザイ株式会社      研究責任者 大郷 真

2020年10月

○問い合わせ窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター NCNP ブレインバンク

氏名 齊藤祐子、佐野輝典、高尾昌樹

電話番号 042-341-2711（代表）

e-mail：yukosm※ncnp.go.jp（「※」を「@」に変更ください。）

○苦情窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター倫理委員会事務局

e-mail：ml\_rinrijimu※ncnp.go.jp（「※」を「@」に変更ください。）